

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別イベント

無声映画遺産とアーカイブ Silent Film Heritage and Archive



2016年10月22日(土) 13:00~16:45

東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール (2階)

平素よりお世話になっております。

フィルムセンターでは、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が定めた「世界視聴覚遺産の日」(10月27日)を記念して毎年特別イベントを開催しています。

9年目の本年は、映画保存の原点を見つめなおす試みとして「無声映画遺産とアーカイブ」をテーマに、120年を超える映画史の初期30年に豊饒な文化を育みながらもその9割以上を失ってしまった無声映画に焦点をあてます。本イベントでは、無声映画遺産の保存と普及に貢献した世界的な研究者や機関を表彰する「ジャン・ミトリ賞」の受賞者小松弘氏(早稲田大学文学学術院教授)の講演と、当館主幹の岡島尚志の講演、それぞれに関連する貴重な無声映画を全てピアノ伴奏付きで上映します。

無声映画の世界を堪能し、映画を歴史的かつ文化的遺産としてアーカイブしていくことの重要性に思いをはせる機会として、ぜひ、貴媒体にてご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

当日、イベントの取材をご希望されるマスコミの方は、あらかじめご相談いただければ幸いです(事業推進室 TEL:03-3561-0823)。何卒よろしくお願い申し上げます。

10月22日(土) 開場 12:30 開始 13:00 ※イベント開始後の入場はできません

13:00-13:45 <u>講演</u>	「無声映画の美しさ La Bellezza del Cinema Muto」 小松弘(早稲田大学文学学術院教授)
13:45-14:45 <u>上映</u>	『祖国』[予告篇](8分・18fps・35mm・無声・白黒) 1925(松竹蒲田)[小松弘氏提供] 『ダイヤの王国』[不完全版](52分・16fps・35mm・無声・染色・調色・染調色・フランス語/スペイン語インタータイトル) <i>L'Empire du Diamant (The Empire of Diamonds)</i> 1920(レオンス・ベレ・プロダクション)(監)(脚)レオンス・ベレ(原)ヴァレンティヌ・マンデルスタム(撮)ルネ・ギッサール(ルネ・ガイサート)(出)ロバート・エリオット、ルーシー・フォックス、ヘンリー・セル、レオン・マト *不燃化・染色・調色:(株)IMAGICA ウェスト
14:55-15:40 <u>講演</u>	「アイリス・バリーとD・W・グリフィス——MoMAフィルムライブラリーの始まり」 岡島尚志(東京国立近代美術館フィルムセンター主幹)
15:40-16:45 <u>上映</u>	『毒蛇の飼育』[MoMA復元版](16分・16fps・35mm・無声・白黒・英語インタータイトル) <i>Nursing a Viper</i> 1909(バイオグラフ)(監)D・W・グリフィス(撮)G・W・ビツァー(出)アーサー・ジョンソン、マリオン・レナード、フランク・パウエル 『錠戸の締まった家』[MoMA復元版](16分・16fps・35mm・無声・白黒・英語インタータイトル) <i>The House with Closed Shutters</i> 1910(バイオグラフ)(監)D・W・グリフィス(脚)エメット・キャンベル・ホール(撮)G・W・ビツァー(出)ヘンリー・B・ウォルソール、ドロシー・ウェスト、グレイス・ヘンダーソン、チャールズ・H・ウェスト 『先史時代』[MoMA復元版](30分・16fps・35mm・無声・白黒・英語インタータイトル) <i>In Prehistoric Days</i> 1913(バイオグラフ)(監)D・W・グリフィス(脚)(撮)(出)ロバート・ハロン(出)メイ・マーシュ、ウィルフレッド・ルーカス、チャールズ・ヒル・メイルズ、ウィリアム・J・バトラー

* 外国語の上映作品には全て日本語字幕が付いています。
 * 全作品伴奏付きで上映します。

本イベントの見どころ

- 無声映画の魅力を、講演と上映を通して深く学べる機会です。
- 映画保存を世界的に推進した MoMA の画期的な活動に触れることができます。
- 『祖國』[予告篇]と『ダイヤの王国』[不完全版]は、公開時以降、初上映です。
- 『ダイヤの王国』[不完全版]は、復元した染色、調色、染調色を通して無声映画の美しい色彩を堪能できます。

講演者

小松弘

早稲田大学文学学術院教授。無声映画の代表的な研究者として世界的に知られ、主な著作に『起源の映画』（青土社、1991）、『ベルイマン』（清水書院、2000）、共訳書にサドゥール『世界映画全史』（国書刊行会、全12巻）などがある。2002年にジャン・ミトリ賞受賞。

岡島尚志

東京国立近代美術館フィルムセンター主幹。フィルムアーキivist/キュレーター。

国際フィルムアーカイブ連盟（FIAF）の第12代会長（2009～2011）をつとめた。専門は映画史、フィルムアーカイブ論、映画評論。

ピアノ伴奏



神崎えり（こうざき・えり）

国立音楽大学作曲学科、パリ国立高等音楽院ピアノ即興演奏科卒業。作曲家・即興演奏家・ピアニストとして国内外で活躍し、即興演奏による映画伴奏にも力を入れている。ポルデノーネ無声映画祭など欧州の国際映画祭にて招待演奏を行い、高い評価を得ている。

ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」（10月27日）

映画フィルム、テレビ番組、様々な録音・録画物などの視聴覚遺産を保存し安全保護する事業や活動を推進し、その重要性を啓蒙するために、ユネスコが2006年に定めた国際記念日。ユネスコに属する視聴覚保存機関連絡協議会（CCAAA）での決定を受けて2007年から世界で実施されている。なお、10月27日は、1980年ベオグラードで「映像の保護及び保存に関するユネスコ勧告」が採択された日。フィルムセンターが加盟している国際フィルムアーカイブ連盟（FIAF）でも、連盟をあげてこの日を祝うことを決定し、世界中の会員機関が記念イベントなどの事業に取り組んでいる。

ユネスコの視聴覚保存機関連絡協議会（CCAAA）による世界視聴覚遺産の日2016年の標語

It's your story - don't lose it 捨てないで、あなたの大事な物語を。

開催概要

開催日：2016年10月22日（土）13:00開始（12:30開場） 16:45終了予定 *イベント開始後の入場はできません

企画名：無声映画遺産とアーカイブ

会場：東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール（2階）

定員：299名

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター

協力：小松弘

料金：一般520円／高校・大学生・シニア310円／小・中学生100円／障害者（付添者は原則1名まで）、キャンパスメンバーズは無料

お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600

【本企画HP】<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/unesco2016/>

【本企画に関するお問い合わせ】東京国立近代美術館フィルムセンター（事業推進室：白鳥・碓井・大澤・富田）
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：nfc-pr@momat.go.jp